

Itaya Hazan and His Home Shimodate

開館30周年記念

板谷波山と郷里・下館



2010年
10月16日(土)～12月12日(日)

開館時間：午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

休館日：毎週月曜日

入館料：200円・団体150円(10名以上)
高校生以下無料
*しもだて美術館との共通券あり

住所：〒308-0021
茨城県筑西市田町甲866-1

TEL：0296-25-3830

主催：財団法人 波山先生記念会

自宅の庭先で写生をする波山 昭和30年代、
彩磁花卉文香炉 昭和20年代、梅香合 昭和10～30年代、
延寿文帯、金属製扇杖 昭和前期、素描・百合園 昭和初期



板谷波山記念館



芸術文化振興基金助成事業

板谷波山と郷里・下館

Itaya Hazan and His Home Shimodate

開館30周年記念



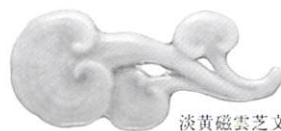
彩磁藤文花瓶 明治時代後期

板谷波山は(1872-1963)は20世紀の日本陶芸界の頂点を極め、昭和28年(1953)に文化勲章を受章(陶芸家として初)、そして昭和29年には日本画の横山大観とともに茨城県名誉県民の第一号となりました。

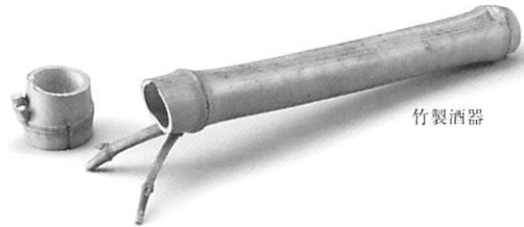
この板谷波山記念館は、東京・北区田端の旧波山邸より三方焚口のレンガ窯(明治時代のもので当時の最先端の施設)やロクロ台をはじめ様々な窯道具類を運び、往時の波山工房も復元され、この下館の地に昭和55年(1980)にオープンしました。それから今年でちょうど30周年を迎えます。

このたびの記念展では独特のデザインと色彩をもつ作品ばかりでなく、その道具類や素描や試作などから制作の背景に迫ります。さらに故郷・下館の人々との心温まる交流の様子を、近年新たに発見された資料を交え偲びたいと思います。

また、今回の特別展ばかりでなく、下館に残る多くの波山ゆかりの場所を訪れる散策の旅も是非お楽しみ下さい。



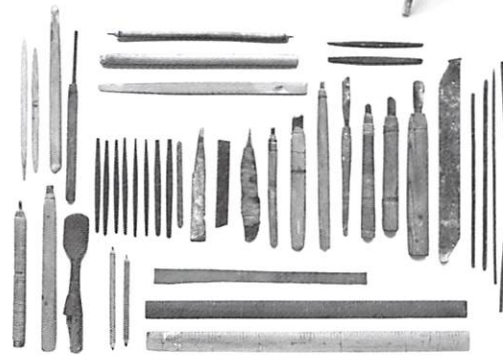
淡黄磁雲芝文帯留 昭和7年



竹製酒器



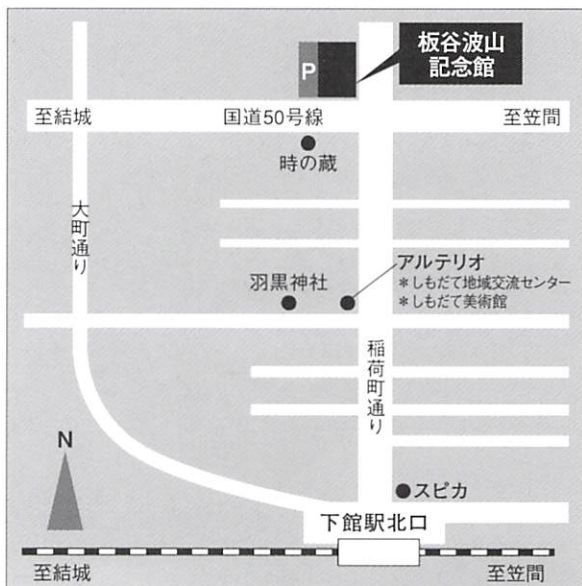
彩磁芭蕉蛙文花瓶 明治30年代



彫刻刀類



青磁蓮花文水指 昭和時代前期



■ JR水戸線・真岡線/TX→常総線
下館駅下車 北口より徒歩10分

■ 常磐自動車道谷和原ICから国道294号線で約40km

関連プログラム

開館30周年記念・波山のつどい

「波山芸術と郷里・下館を語る」

12月5日(日) 午後2時より

会場：アルテリオ1階 集会室

出演：村田あき子(波山の愛孫、染織工芸「銀座 むら田」店主)

荒川正明(学習院大学教授、下館のみなさん)

列品解説：10月16日(土) 午後2時より

講師：荒川正明(学習院大学教授)

ボランティアによるご案内：10月23日以降、毎週土曜日午後2時より

開館時間：午前10時～午後6時

(入館は午後5時30分まで)

休館日：毎週月曜日

入館料：200円・団体150円(10名以上)

高校生以下無料

*しもだて美術館との共通券あり

住所：〒308-0021

茨城県筑西市田町甲866-1

T E L : 0296-25-3830



板谷波山記念館



芸術文化振興基金助成事業